

施策番号	施 策 名			予算額(百万円)
221	高齢者や障害者が活動できる環境づくり			1,323
【2010年度の目標】 高齢者や障害者が、意欲や能力に応じてさまざまな活動に参加でき、いきいきとした毎日をおくっています。				
項 目	基準年度の状況	1999年度実績	2001年度の目標	2010年度の目標
65歳までの継続雇用の普及率	23.8%	22.3%	30%程度	100%
身体障害者雇用率達成企業割合	53.4%	45.6%	70%程度	100%
身体障害者・知的障害者更生・授産施設(通所)	564人分	720人分	804人分	1,250人分
精神障害者 共同作業所設置数 授産施設設置数 福祉工場	12か所 2か所 0か所	14か所 4か所 0か所	22カ所 5カ所 1カ所	37か所 9か所 1か所
手話通訳者・要約筆記奉仕員登録者数	250人	270人	464人	950人
点訳奉仕員・朗読(録音)奉仕員登録者数	318人	403人	527人	1,080人
ガイドヘルパー登録者数	120人	159人	240人	600人

これまでの取組

平成12年度は障害者の社会参加と自立を進める環境づくりとして、県域及び市町村における社会参加促進事業を推進し、精神障害者の地域生活支援に取り組むとともに、職業相談、職場定着指導、大会開催による啓発等を実施することで障害者の雇用に結びつけました。高齢者施策としては事業を継続しつつ、紀南健康長寿については県民局各部との連携を強め事業展開を図っています。また、65歳までの継続雇用制度導入を中心に、企業主団体への訪問、普及啓発や、県内全域でシルバー人材センター事業が適正に展開できるよう未設置町村に対する研修会の実施、連合会加入を推進しました。

バリアフリー社会への取り組みとして、「三重県バリアフリーのまちづくり推進条例」の施行及びその普及啓発、県職員体験セミナー・バリアフリーアドバイザー養成講座等を実施したほか、本庁舎・松阪庁舎の改修等を行いました。

平成13年度の取組

平成13年度においては、障害者の社会参加を支援する事業を引き続き実施しつつ、地域における精神保健福祉の充実を図っていきます。また、障害者雇用促進に向けて、国との連携を密にしつつ、従来からの施策を効果的に実施し、県民・企業に対し雇用促進の機運の醸成に努めます。

また、高齢者の社会参加のシステムづくりを支援し、「健康長寿日本一」をめざした紀南健康長寿モデルエリア計画に基づく県民局各部及び市町村と連携した事業展開を図るほか、65歳までの継続雇用制度を推進し、企業内において高齢者の知識や経験を活かせる場を確保するとともに、多様な形態による就業の機会を確保するためシルバー人材センター事業を支援します。

バリアフリー社会へ向けては、引き続き条例の普及啓発に取り組みます。また、体験セミナー等で蓄積したノウハウを市町村に提供していくなど、地域が主体的にバリアフリーのまちづくりを進めるよう取り組むとともに、津・上野庁舎のバリアフリー改修工事などを行います。

主な事業

- 1 障害者社会参加促進事業 (55,767(34,783)千円)
【(104)障害者社会活動推進事業】〔健康福祉部〕
在宅障害者が地域生活の中で自立し、社会参加ができるよう相談支援、情報支援、生活訓練、スポーツ振興を含めた地域交流支援、啓発広報等の事業を総合的に実施していきます。
- 2 紀南健康長寿リーディングエリア形成事業 (7,382(0)千円)
【(105)高齢者社会参加環境づくり事業】〔健康福祉部〕
紀南地域に根ざした事業を展開していくとともに、健康まちづくり活動支援、保健医療福祉情報ネットワーク整備等の事業を実施します。
- 3 中高年齢者の雇用促進事業 (9,361(3,152)千円)
【(204)中高年齢者雇用対策事業】〔生活部〕
中高年齢者の就業の場を確保するため、雇用開発推進員を5公共職業安定所に配置し、事業主への周知、啓発等を実施します。
- 4 シルバー人材センター促進事業 (17,837(17,837)千円)
【(204)中高年齢者雇用対策事業】〔生活部〕
高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進を図るため、シルバー人材センターの設置促進、育成強化を行います。
- 5 県有施設バリアフリー対策事業 (141,241(14,241)千円)
【(301)バリアフリー社会推進事業】〔総務局〕
すべての人が不自由なく平等に利用できるように、津庁舎及び上野庁舎の改修工事を行います。
- 6 バリアフリーのまちづくり普及啓発事業 (16,656(16,656)千円)
【(301)バリアフリー社会推進事業】〔健康福祉部〕
バリアフリーアドバイザーの活動支援を行うとともに、県職員体験セミナーで蓄積したノウハウを市町村へ移転したり、教育現場で体験セミナーを実施するなど対象に応じた効果的な普及啓発を進めます。
- 7 タウンモビリティ推進事業 (5,227(5,227)千円)
【(301)バリアフリー社会推進事業】〔健康福祉部〕
高齢者等が街の中を自由に移動できるよう、電動スクーター等を利用したまち全体のバリアフリー化に向け検討を行います。

主な見直し項目

「三重県地域精神保健福祉ニーズ調査事業」は、単年度で事業目的を達成したため廃止。

「高齢者労働能力活用事業」は、「シルバー人材センター関係事業」一本化により廃止。

「シルバー人材センター促進事業」は、関係事業の一本化によりリフォーム。